



Techno Smart

Changing Life with Coating Technology

テクノスマート (6246)

2026年3月期
通期決算説明資料



1

会社概要

2

第3次中計振り返り及び
2026年3月期実績

3

第4次中計概要及び
2027年3月期見通し

4

Appendix

常にお客様を第一とし

ベストソリューションを提供し続ける

コーティング・乾燥技術のプロ集団

「こんな商品を！」の声に応える新商品開発サポート



豊富な経験と先端の知識を備え
お客様のコミュニケーションを
基点に動く技術者集団

万全なお客様機密情報の保護

会社名 株式会社テクノスマート
(Techno Smart Corp.)

事業内容 各種産業界向け塗工・乾燥装置の製造・販売

創業 1912年6月15日

資本金 19億5,393万円

〒541-0056
所在地 大阪府大阪市中央区久太郎町2丁目5-28
久太郎町恒和ビル2階

従業員数 255名 (2026年3月末時点)

生産拠点 【滋賀事業所】 滋賀県野洲市大篠原3200番地

▼滋賀事業所



経営理念

「ものづくり」を礎に、世界に冠たる塗工技術で
人々の想像を超え、未来を切り拓く

誠実



お客さまがどのような思いで製品を作りたいのか、その思いに真摯に向き合う。
お客さまの未来を担う覚悟で、私たちの技術を駆使して、任された一台一台を作る。

挑戦とシナジー



全社員・お客さま・お取引先と、知恵と技術を出し合う。
ともにより良い製品を生み出し、世界中の人々の生活を進化させるための挑戦を続ける。

イノベーション

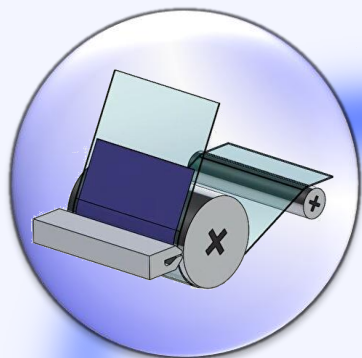


「不屈の精神」をもって、実現する道を考え成し遂げる。
「ものづくり」への誇りをもって、常識にとらわれず新しいものを形にする。

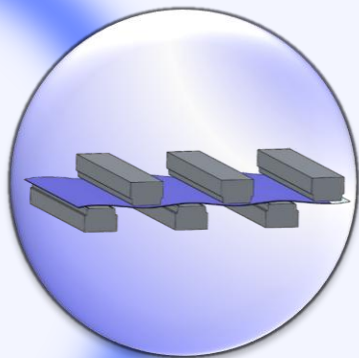
モノ作りにおける「塗る」「乾かす」「巻き出す・巻き取る」に対するベストソリューションの提供

塗工プロセスに必要な要素全てを自社製品でカバー

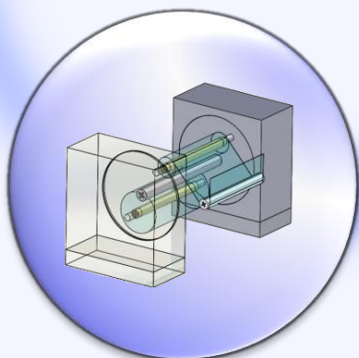
顧客のニーズに合わせた最適な生産ラインを提案・構築



塗る



乾かす

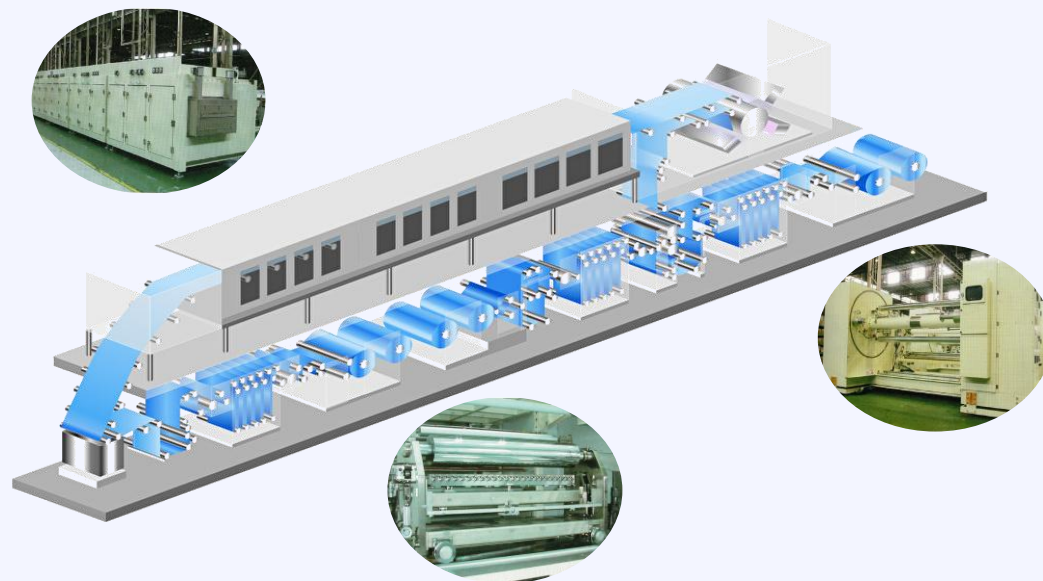


巻き出す・巻き取る

使用する材料

ラインの
生産性

コーティング
の精度



塗工プロセスで要求される様々な要素を
最大限に満たす生産ラインを設計・構築

1

会社概要

2

第3次中計振り返り及び
2026年3月期実績

3

第4次中計概要及び
2027年3月期見通し

4

Appendix

2026年3月期は売上高が過去2位、利益も高水準を維持
 一方、2027年3月期はEV市場の需要悪化を織り込み減収減益予想も、DOE 5%以上を維持し増配予定

	25年3月期	26年3月期	27年3月期	
(百万円)	実績	実績	計画比*1	業績予想
受注高	14,013	20,156		
前年比	△42.3%	+43.8%		
売上高	21,578	20,737	+737	19,000
前年比/計画比	+12.1%	△3.9%	+3.7%	
営業利益	3,512	2,971	△29	2,000
営業利益率	16.3%	14.3%	△0.7pt	
前年比/計画比	+35.7%	△15.4%	△1.0%	
経常利益	3,555	2,968	△32	2,000
前年比/計画比	+35.2%	△16.5%	△1.1%	
純利益	2,390	1,791	△209	1,400
前年比/計画比	+32.5%	△25.1%	△10.5%	
受注残高	24,284	23,703		
前年比	△23.8%	△2.4%		
ROE	12.2%	8.9%		
1株あたり配当金	86円	90円		92円

*1 期初予想との比較

2026年3月期概況

- ✓ 売上高は堅調に推移したものの、営業利益、経常利益、純利益はEV市場の鈍化及び貸倒引当金の計上が影響し、期初予想にわずかに届かない結果となり、**ROEは 8.9%**となった
- ✓ 大型案件の獲得はなかったものの、ディスプレイ部品関連と機能性フィルム関連を中心に**201億円**を受注し、受注残高は**237億円**と高水準を維持
- ✓ 設計仕様や案件に応じた製造工程の効率化による原価低減施策は継続できた

2027年3月期見通し

- ✓ ディ스플레이部品関連と機能性フィルム関連は、**安定的な受注**を見込む
- ✓ エネルギーに関しては、データセンター向けで引き合いは見られるものの、短期的な回復は見込みにくい状況。反面、**ペロブスカイト太陽電池**や**全固体電池**は数年で商業化が期待でき、受注活動に注力する
- ✓ 中長期的な成長を目指し、事業拡大が見込める投資は第4次中期経営計画に沿って実行

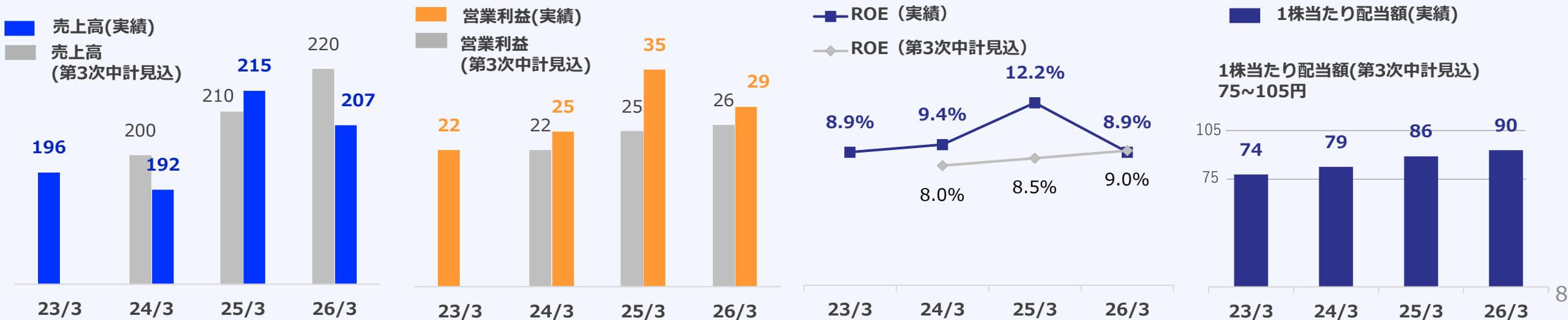
2026年3月期及び第3次中期経営計画 振り返り（定量目標）

3 期目

	26年3月期 計画 (第3次中計見込)	26年3月期 予想	26年3月期 実績	3期目の評価	第3次中期経営計画振り返り
売上高	220.0億円	200.0億円	207.3億円	○： 期初予想に対し103.6%で着地	<ul style="list-style-type: none"> ■収益性の高い案件が貢献し、営業利益は計画を超過して達成 ■一方、市場環境等の変化から当初の想定と比較してエネルギー領域における受注が停滞・縮小 ■ROEは25/3月期は大きく超過、他の期も概ね計画値を達成できた
営業利益	26.0億円	30.0億円	29.7億円	○： 期初予想に対し99.0%で着地	
ROE	9%以上	10%以上	8.9%	○： 計画値に届かず	
DOE	5%以上		5.1%	○： 計画値を達成	5%以上を維持することができた
配当額	75円~105円	88円	90円	○： 普通配当88円+特別配当2円	計画値を達成

第3次中計発表時の
28/3期目標は
方向性見直し

第3次中計期間業績推移



目標	主要施策	2026年3月期実績
① 車載用二次電池市場向けを中心に、エネルギー領域での成長を加速	<ul style="list-style-type: none"> ✓ Dürr社 (独) との提携を通じた欧州展開強化 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ Dürr社 (独) を通じて欧州企業より引き合いはあったものの、EV市場の成長鈍化の影響により、2025年3月期とは異なり受注まで至らず
② 納期の長期化の解消と技術力強化を通じた競争力の向上	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 設計者の採用強化 ✓ 生産・研究開発投資の拡大 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 新卒・中途採用により、全社で10名増加 ✓ 25年3月からテクニカルシナジーセンターが稼働開始し、様々なテストに対応可能な体制に
③ 新市場開拓を目指した海外戦略の強化	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 海外訪問強化 ✓ 営業人材の採用強化 ✓ アフターサービス拡充 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 海外市場での実績に対する評価の向上を背景とした、新規引合い・顧客の獲得 ✓ インド市場に対しても営業活動を展開
④ 資本効率の向上	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 財務戦略の見直しによるROEの改善 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 原価低減活動の効果はあったが、外部環境の変化と貸倒引当金計上が影響し、ROEは8.9%に

テクニカルシナジーセンター (新実験棟)

お客様が実験までお待ちいただく日数が短縮されます。
 新実験機は、高クリーンクラス環境を実現し、塗工ユニットも交換できることから様々な塗工条件に応じたテストが可能です。



外観



新実験機

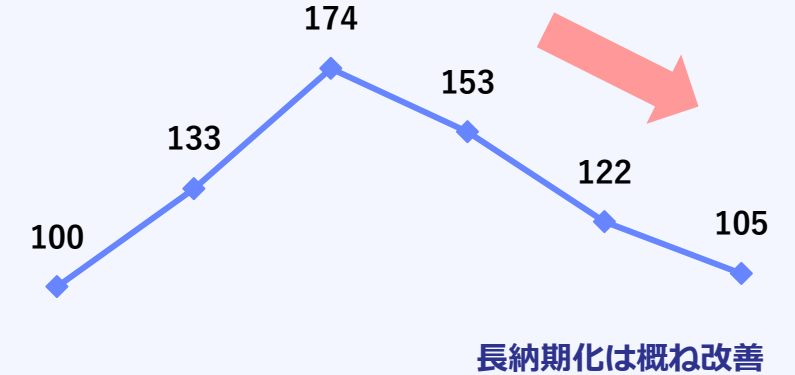
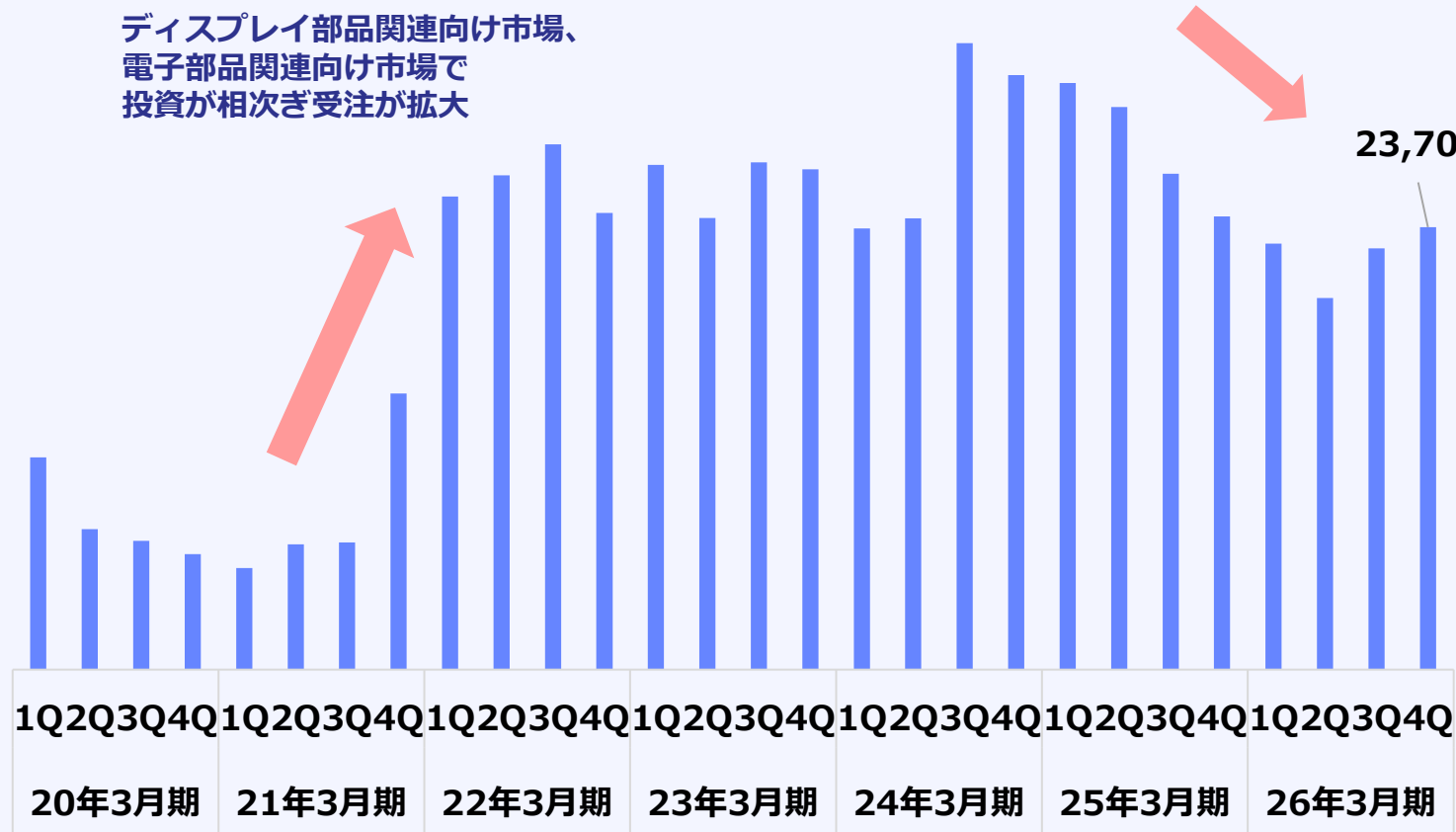
今期の受注高は201億円となったが、事業環境の変化で受注内訳は第3次中計の想定と大きく異なる。車載電池向けの下振れをディスプレイ・機能性フィルムでカバーし、高水準の受注残高を維持。

受注残高
(百万円)

EV市場の鈍化

リードタイム推移
(21年3月期=100)

ディスプレイ部品関連向け市場、
電子部品関連向け市場で
投資が相次ぎ受注が拡大



ディスプレイ部品関連向け市場においては技術力の強みを発揮し、引き続き好調に推移。需要はしばらく続くと予想され、一定規模の受注を獲得できる見通し。

ディスプレイ部品関連機器売上高
(百万円)

前年比 +2.4%



10,076

9,842

6,348

7,464

5,227

22年3月期 23年3月期 24年3月期 25年3月期 26年3月期

2026年3月期概況

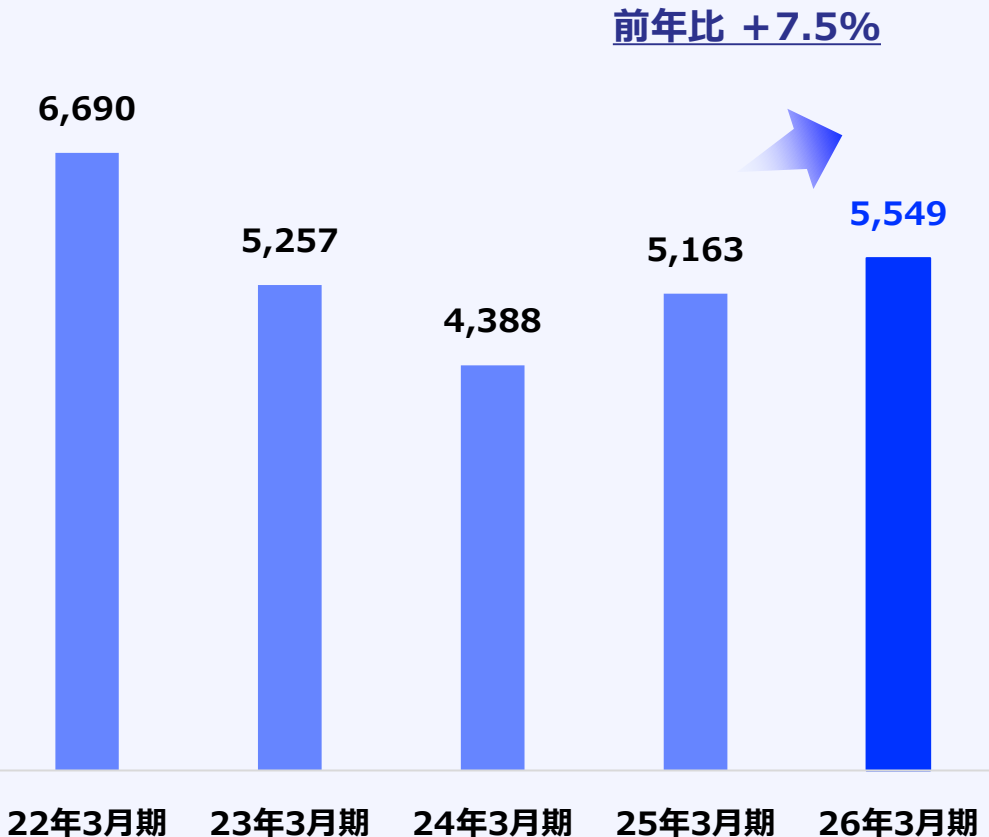
- ✓ 売上高は2024年3月期の大型受注の進捗が進み**売上金額で大きく貢献**し、2025年3月期から微増の+2.4%で売上全体の半分に迫る
- ✓ **光学系においては実績、高い品質、高い技術力が求められる**ため、当社を含む日本メーカーは競争力を有している
- ✓ ディ스플레이の大型化等を通して市場は拡大しており、当社も顧客の設備投資に伴う需要を獲得し、**昨年を超える受注高**となった

2027年3月期 見通し

- ✓ ディ스플레이部品関連領域の塗工装置での日本メーカーの**競争力は引き続き維持**できると想定
- ✓ 足元の動向を踏まえると光学広幅案件などがあり、今後も**活況な業界環境が継続する**見込み

機能性フィルム関連塗工機器は前年同期比で売上高は増加し、受注は大幅に増加。
安定的な需要が期待でき、今後も市場は堅調に拡大していく見込み。

機能性フィルム部品関連機器売上高
(百万円)



2026年3月期概況

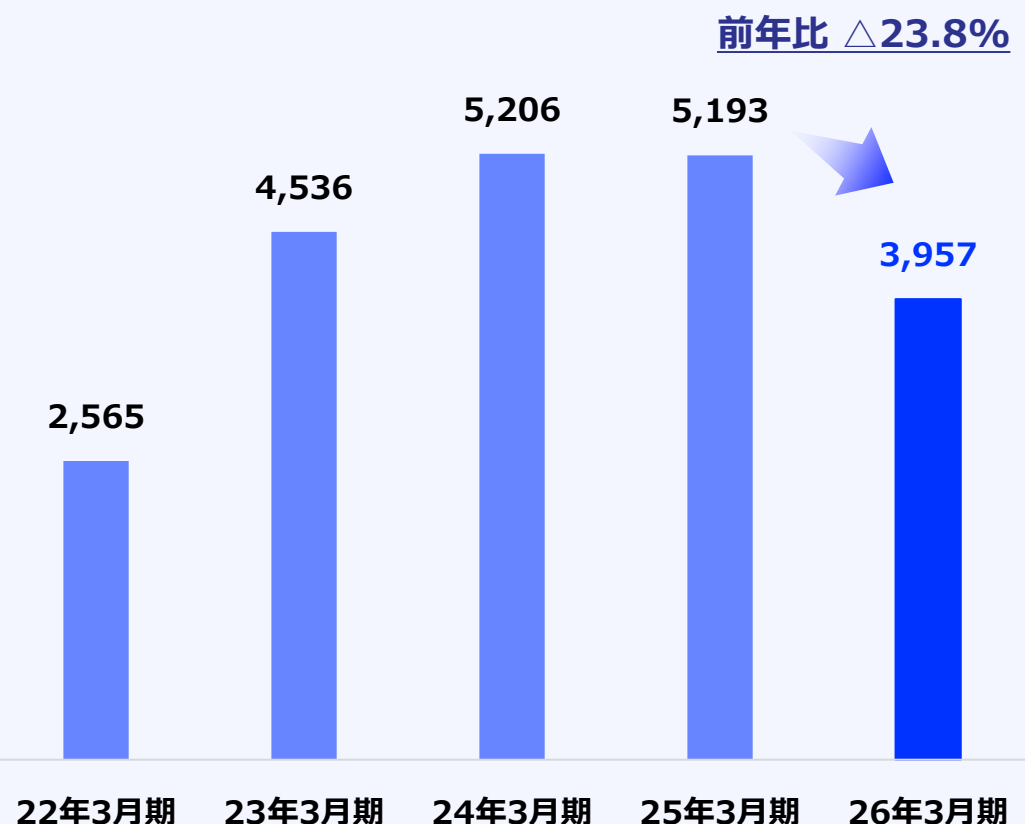
- ✓ MLCCの製造工程で使用されるフィルム装置や保護フィルム向け装置、粘着剤塗工乾燥装置を中心に、売上高は2025年3月比+7.5%
- ✓ 受注もMLCCや半導体向け、偏光板保護フィルム用の案件を獲得し、**受注全体の過半を占めた**

2027年3月期 見通し

- ✓ MLCCの製造工程で使用される剥離フィルムや偏光板保護フィルム、半導体製造工程テープ向け等、様々な分野の引合いがある
- ✓ 機能性フィルムは、**底堅い需要があり**、市況も良くなっているため、今後も成長が期待できる

EV市場の需要鈍化を受け、顧客の発注時期が不透明であり、回復には一定の期間を要する見通しだが、ペロブスカイト太陽電池や全固体電池といった期待の大きい商材に対しては、積極的に受注を目指す。

エネルギー関連機器売上高
(百万円)



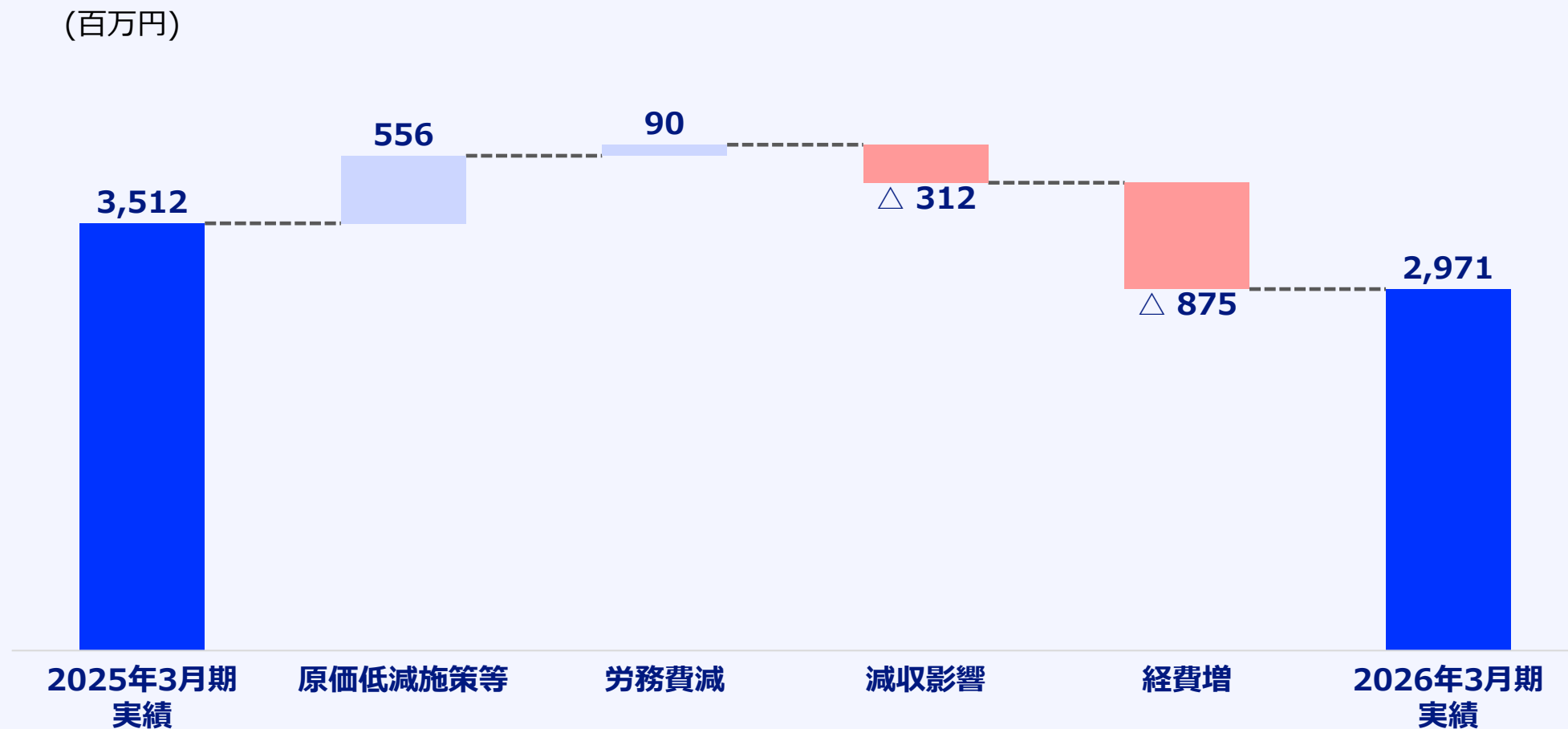
2026年3月期概況

- ✓ 売上高は2025年3月期と比べて Δ 23.8%と低調な結果に
- ✓ EV市場の減速により、生産投資の延期等が発生し、受注高も2025年3月期比で大きな減少となった。

2027年3月期 見通し

- ✓ 世界的なEV市場の鈍化を受け、一部顧客では設備投資延期や様子見の動きが長期的に続く
- ✓ データセンター向けで案件はあるものの、現状ではEV向けをカバーできる規模ではない
- ✓ **ペロブスカイト太陽電池や全固体電池**等の新規分野に関しては、利益率が下がっても獲得に挑む

原価低減施策等が奏功したが、減収の影響と貸倒引当金計上による販管費の大幅増で、営業利益は2025年3月期比で△541百万円となった

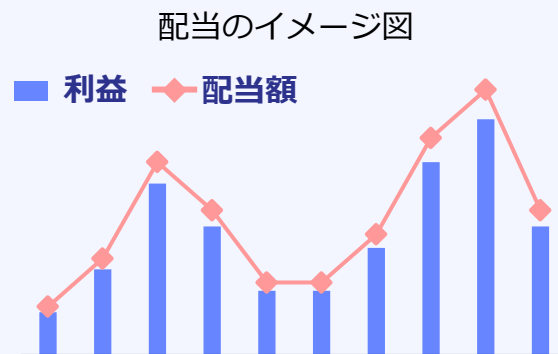


株主還元の方針（第3次中期経営計画より）

当社の特性を踏まえ、株主還元の主要指標としてDOE（自己資本配当率）を採用し安定的な配当の実現を目指す。今中計期間ではDOE 5%以上を目標にし、将来的な増配を通じた株主還元に取り組む。

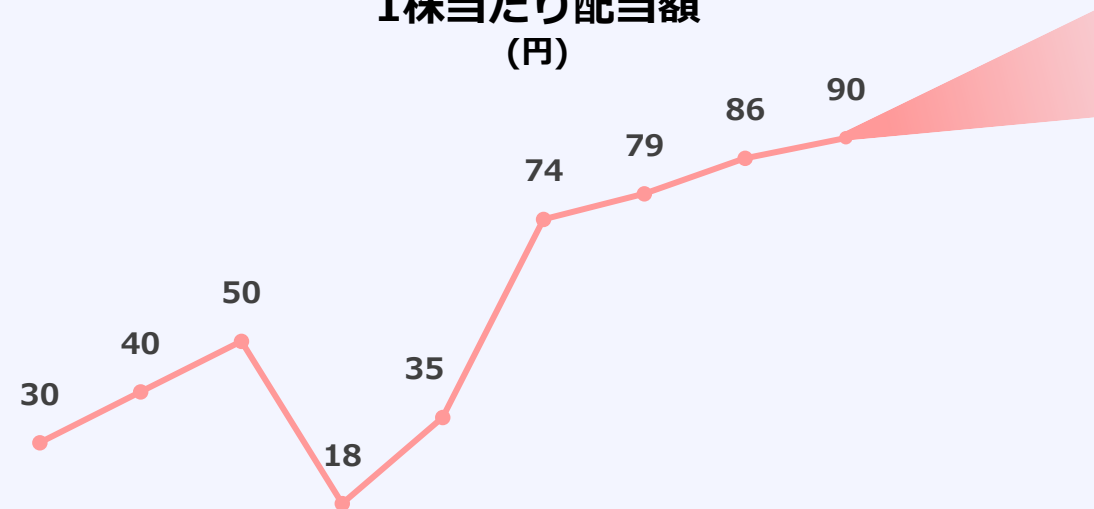
従来

- 配当性向 30%以上
DOE 1%以上を目安
- 配当額が利益変動に伴い変動



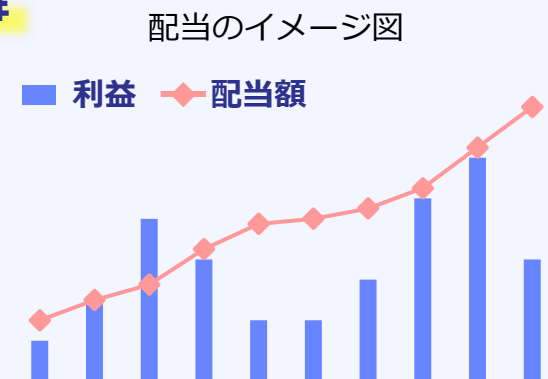
DOE 5%水準の安定配当

1株当たり配当額 (円)



2023年3月期 期末配当以降

- DOE 5%以上を目安
- 自己資本の積み上げに伴い増配
= 黒字継続で増配基調
- 機動的な自己株買いも



1

会社概要

2

第3次中計振り返り及び
2026年3月期実績

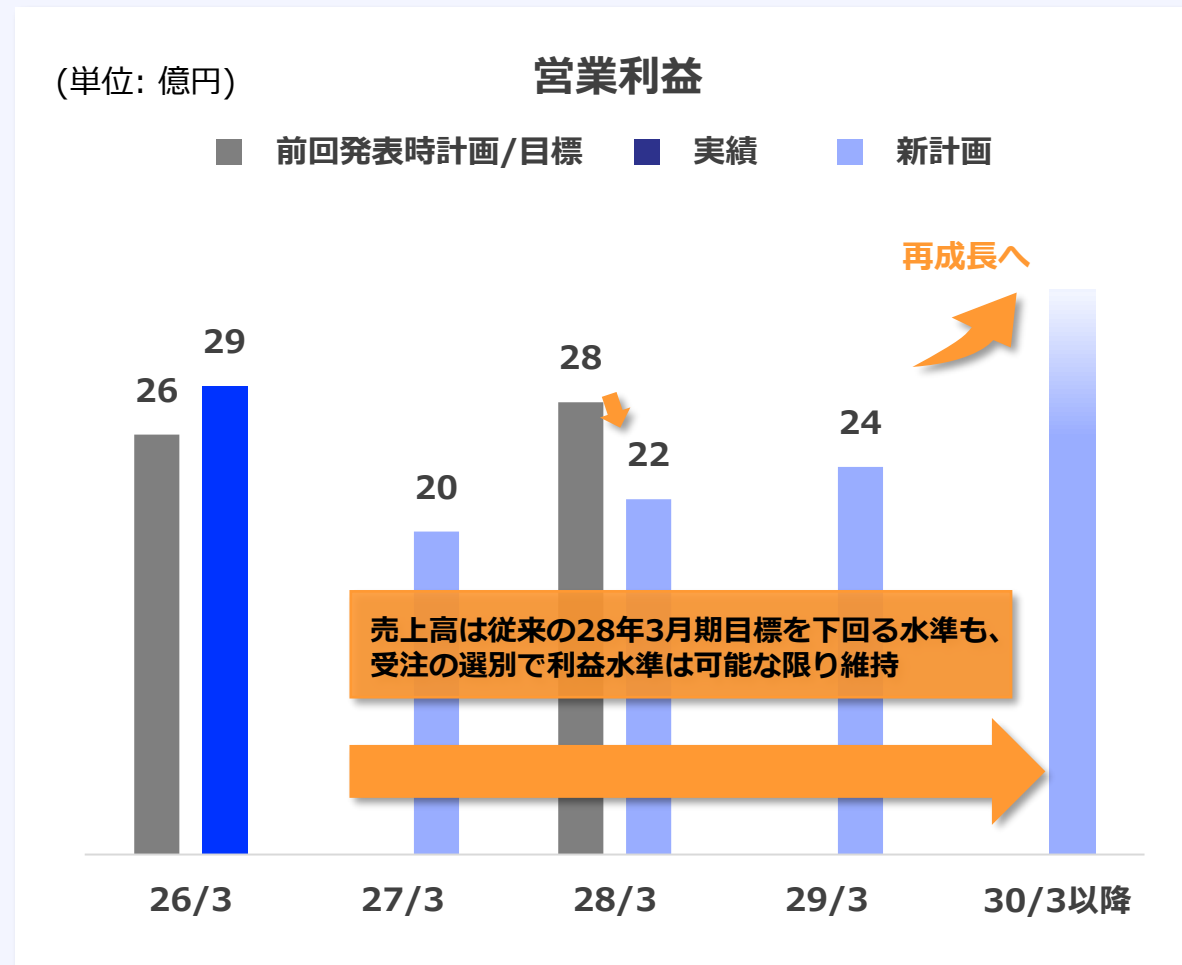
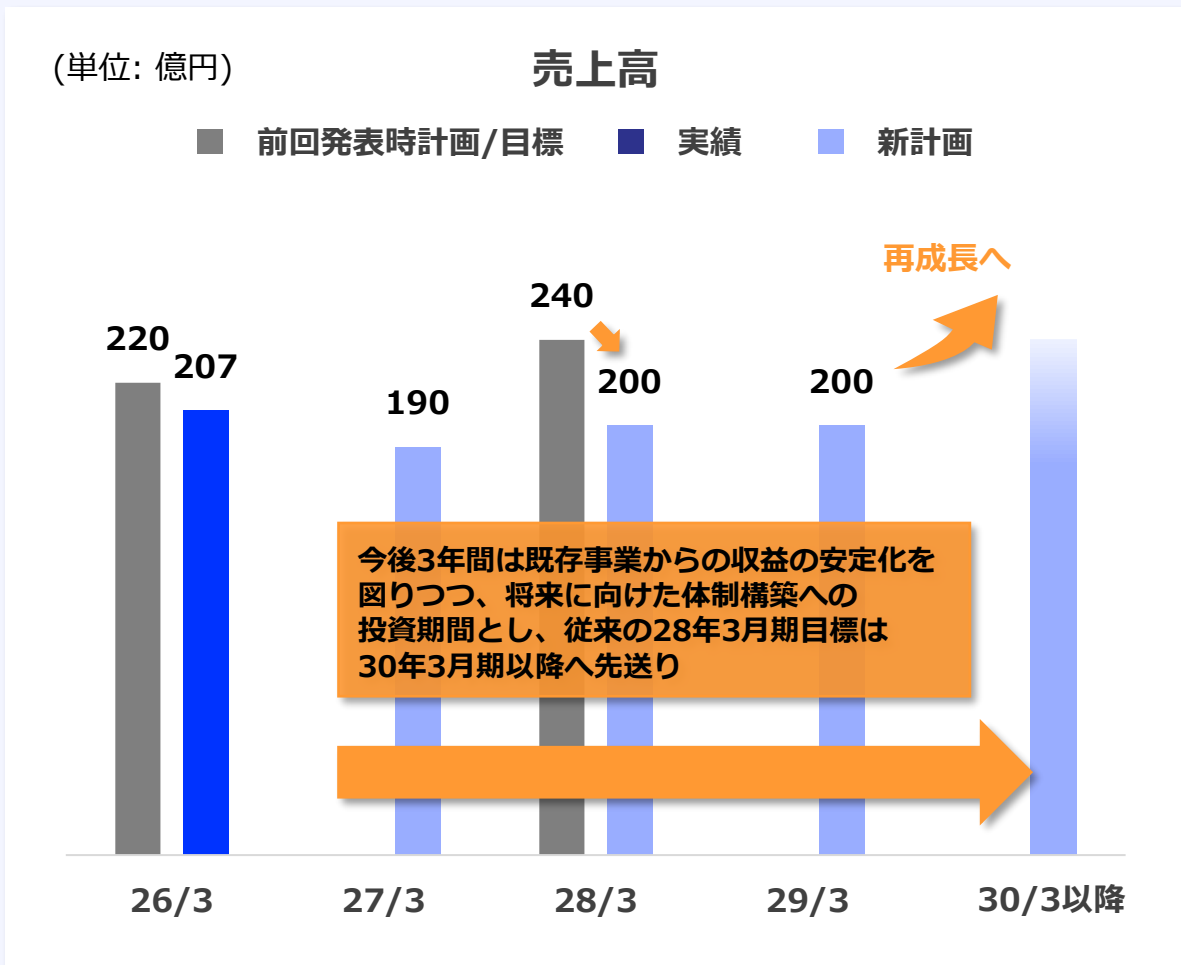
3

第4次中計概要及び
2027年3月期見通し

4

Appendix

現状で成長ドライバーとなる受注の見通しが立っていないことから、売上高240億円 営業利益28億円の目標は30年3月期以降に繰延べ。今後3年間は利益規模を維持しつつ将来の成長に向けた体制整備に取り組む

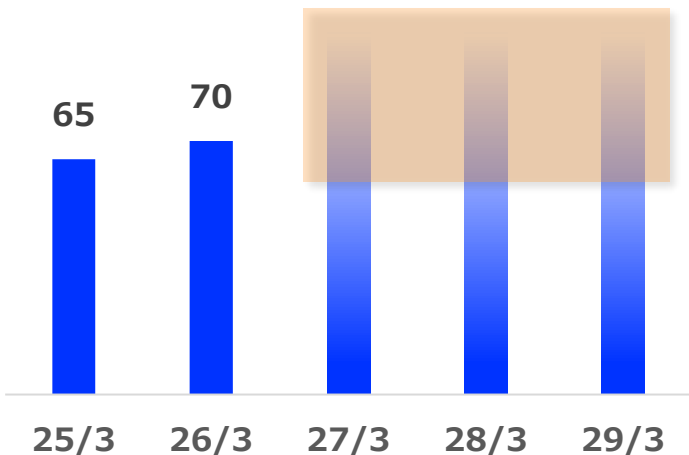


ディスプレイ関連及び機能性フィルム関連を中心に受注を獲得する方針
電気自動車関連は長期的には拡大が見込まれるものの、今中計においては大きな拡大を見込まない

ディスプレイ関連

(単位: 億円)

年間70~110億円見込



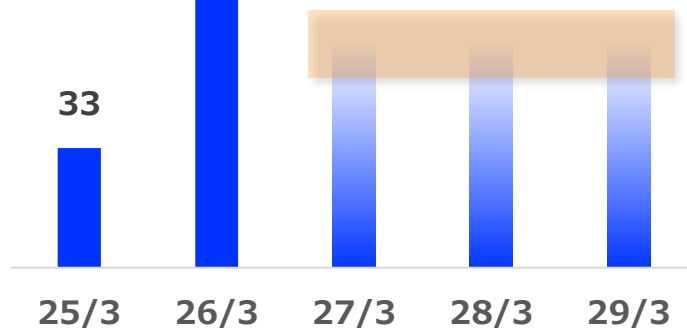
- ✓ 超大型製品の引き合いはまだ無いものの、一定規模の受注を確保出来る見込
- ✓ 一方、今中計期間においてはEV市場の停滞により受注獲得競争の激化が懸念されるため、営業活動がより重要になる想定

機能性フィルム関連

(単位: 億円)

102

年間50~70億円見込

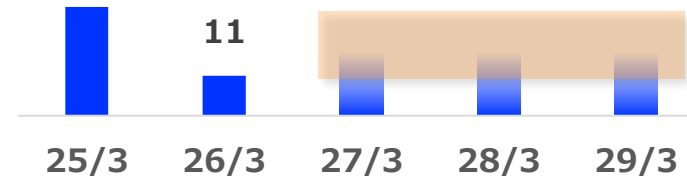


- ✓ MLCC向けの剥離フィルムや、偏光板保護フィルム、半導体製造工程テープ等の安定的な需要が見込まれ、一定規模の受注を確保出来る見込

エネルギー関連

(単位: 億円)

年間20億円見込

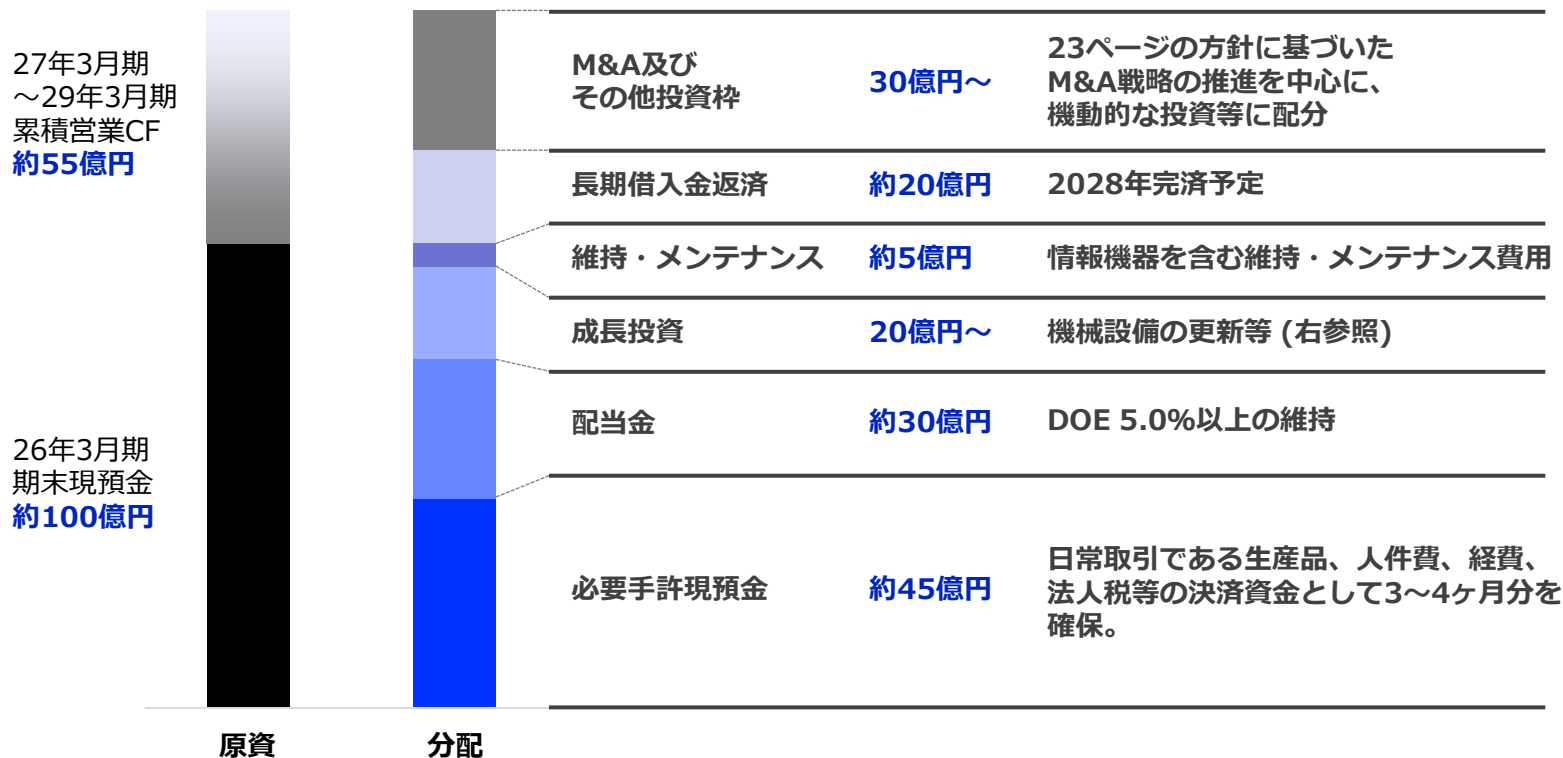


- ✓ EVの普及速度は鈍化しているものの、拡大は継続する想定であり、2029年あたりからは回復基調を見込むものの、確度は高くないため、年20億程度の受注を想定
- ✓ ペロブスカイト太陽電池や全固体電池など新規分野の開拓は利益率が下がっても積極的に受注を目指す

長期持続的な事業活動を営むための財務健全性及び安定的な株主還元を維持しつつ、成長投資及びM&Aへ配分

キャピタルアロケーション方針

(27/3期～29/3期)



主な成長投資の内訳

- **技術統括部エリアの拡大と効率化: 10億円**
 - 業務スペース拡大・設計技術者の増員による納期短縮・技能承継
 - DXによる工程の見直し
 - 高速CADの導入による業務効率化
- **自動化推進による機械設備の更新: 7億円**
 - 生産設備の自動化による省人化やノズル製作部分の自動溶接により製造工数を削減
 - 塗装ブース等の改修
- **超小型テスト機開発: 3億円**
 - 22ページで記載の超小型テスト機を開発

2027年3月期は競合との競争激化で利益率が低下する懸念はあるが、北米・インド地域の開拓や商社との連携強化、全社をあげての営業サポートで受注獲得を目指す

	26年3月期 実績	27年3月期 予想
(百万円)		
受注高	20,156	—
前年比	+43.8%	—
売上高	20,737	19,000
前年比	△3.9%	△8.4%
営業利益	2,971	2,000
営業利益率	14.3%	10.5%
前年比	△15.4%	△32.7%
経常利益	2,968	2,000
前年比	△16.5%	—
純利益	1,791	1,400
前年比	△25.1%	—
受注残高	23,703	—
前年比	△2.4%	—
ROE	8.9%	6~9%
1株あたり配当金	90円	92円

ディスプレイ

- ✓ 超大型製品の引き合いはまだ無いものの、一定規模の受注を確保出来る見込

機能性フィルム

- ✓ MLCC向けの剥離フィルムや、偏光板保護フィルム、半導体製造工程テープ等の底堅い需要があり、今後も緩やかだが伸びが期待される

エネルギー

- ✓ EV市場鈍化に伴い、一定の顧客では設備投資の延期や鈍化傾向はしばらく続く見込み
- ✓ 成長が期待される分野では、案件を獲得できるよう積極的に取り組む

受注

- ✓ ディ스플레이関連及び機能性フィルム関連を中心に受注を目指す

ROE

- ✓ 短期的には当社の想定する資本コスト9~10%を下回ることを想定も、バランスシート改革を含む資本効率の改善に取組み、株主資本コストを超えるROE達成を目指す
- ✓ M&Aや成長投資で現業の競争力アップや効率化を図る

株主還元

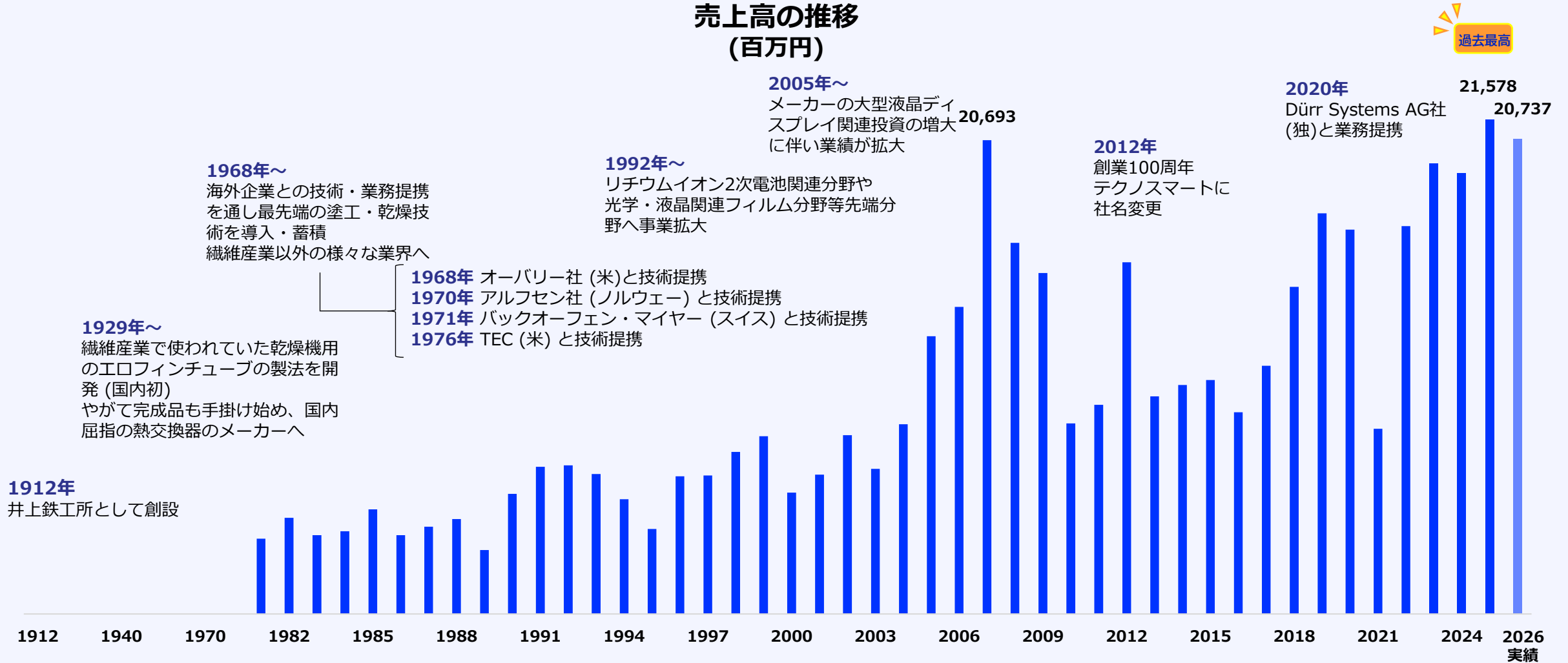
- ✓ DOE 5%以上を維持し、増配を意識した配当方針とする

Appendix



1912年に創業。繊維産業向け乾燥機のエロフィンチューブの開発以来、様々な業界の塗工・乾燥のプロセスに関するソリューションを手掛ける

売上高の推移 (百万円)



1912年
井上鉄工所として創設

1929年～
繊維産業で使われていた乾燥機用のエロフィンチューブの製法を開発 (国内初)
やがて完成品も手掛け始め、国内屈指の熱交換器のメーカーへ

1968年～
海外企業との技術・業務提携を通し最先端の塗工・乾燥技術を導入・蓄積
繊維産業以外の様々な業界へ

- 1968年 オーバリー社 (米)と技術提携
- 1970年 アルフセン社 (ノルウェー) と技術提携
- 1971年 バックオーフェン・マイヤー (スイス) と技術提携
- 1976年 TEC (米) と技術提携

1992年～
リチウムイオン2次電池関連分野や光学・液晶関連フィルム分野等先端分野へ事業拡大

2005年～
メーカーの大型液晶ディスプレイ関連投資の増大に伴い業績が拡大

2012年
創業100周年
テクノスマートに社名変更

2020年
Dürr Systems AG社 (独)と業務提携

現在はディスプレイ関連、機能性フィルム関連、エネルギー関連で9割超を占める

① ディ스플레이関連塗工機器

液晶用表示装置に代表される光学用途フィルム塗工装置及び関連する乾燥・熱処理装置



顧客製品：
偏光フィルム、ARフィルム 等

関連製品・最終製品：
液晶テレビ、スマートフォン 等

② 機能性フィルム関連塗工機器

一般産業資材用のフィルム用途装置及び関連する乾燥・熱処理装置

顧客製品：
離形フィルム等

関連製品・最終製品：
MLCC 等



③ 電子部品関連塗工機器

半導体、FPC等電子部品関連用途装置及び関連する乾燥・熱処理装置



顧客製品：
FPC 等

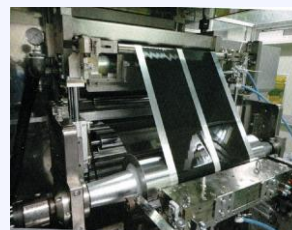
関連製品・最終製品：
スマートフォン 等

④ エネルギー関連塗工機器

二次電池用途装置及び関連する乾燥・熱処理装置
また、塗工機以外の二次電池用製造装置及び関連機器

顧客製品：
LIB、太陽電池 等

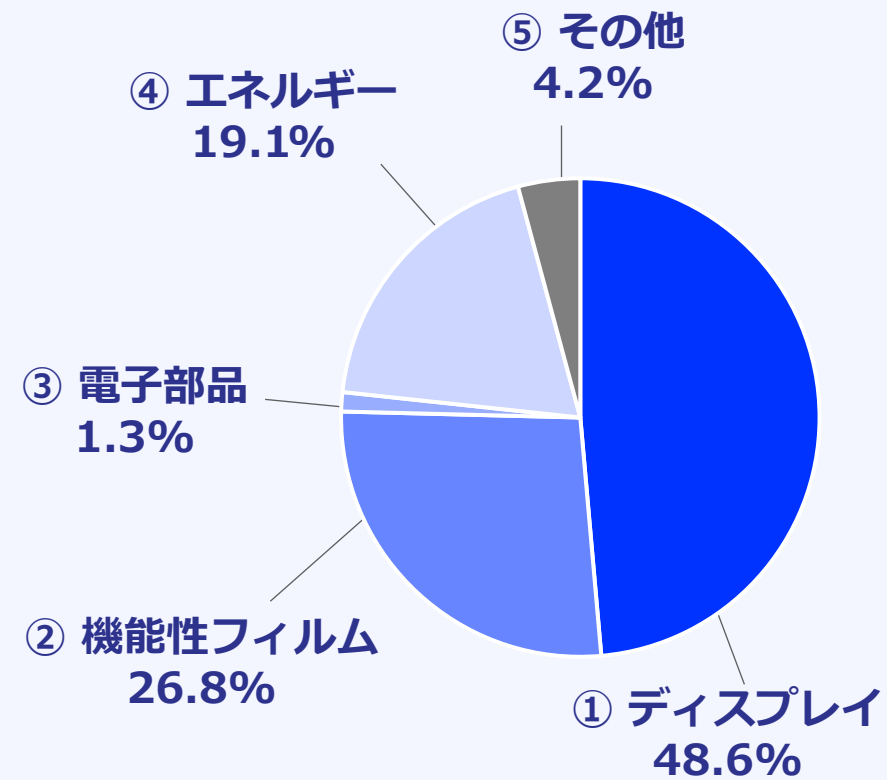
関連製品・最終製品：
スマートフォン、EV 等



⑤ その他

各種関連機器の部品製造・改造・修理

製品セグメント別売上高構成比
(2026年3月期4Qベース)



テクノスマートの装置が関わる製品群

生活に欠かせない様々なものの製造で塗工プロセスが必要とされている



液晶テレビ



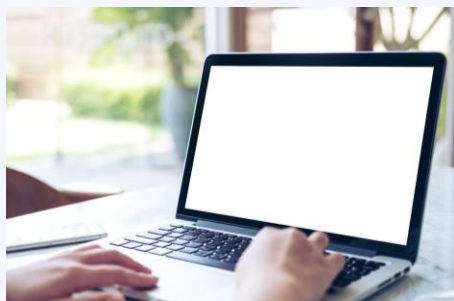
スマートフォン



太陽電池



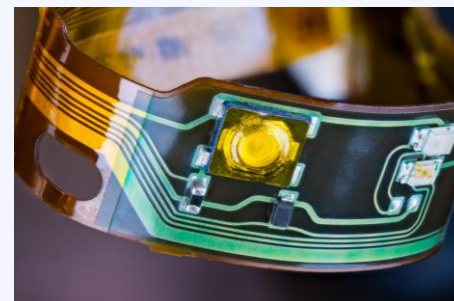
車載インパネ



ノートPC



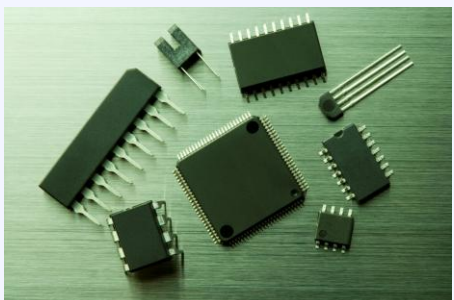
リチウムイオン電池



フレキシブルプリント基板



医療用経皮吸収パッチ



半導体・電子部品



窓用フィルム



粘着テープ



フローリング風床材

顧客第一の姿勢のもと、お客様の求める要素を全て実現し、技術に支えられた高品質なソリューションと永続的なアフターフォローを通して高い顧客満足を実現

ヒアリング・営業



お客様とのコミュニケーションを通じて課題を発見。新商品開発や提案に繋げる

企画・設計



引き合いをいただいたお客様との打合せに基づいて下調べを行い、図面・仕様書を作成

製造・据付



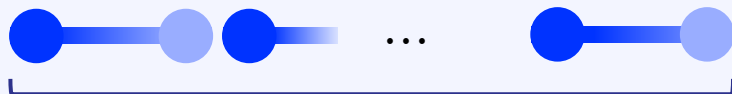
お客様の工場で実際に製造ラインを据付し、試運転を重ねて求められている水準を実現

アフターフォロー



納品後も永続的なアフターフォローに取り組み、更なる顧客満足度の充実に努める

一般的なリードタイム



1~3か月/回程度の
見積もりを繰り返し
お客様の求める設計に

1年~

永続的なフォロー

損益計算書 (通期)

(百万円)	17年3月期	18年3月期	19年3月期	20年3月期	21年3月期	22年3月期	23年3月期	24年3月期	25年3月期	26年3月期
受注高	16,067	18,553	18,666	9,179	16,771	26,603	22,017	24,288	14,013	20,156
受注残高	8,343	12,611	13,785	6,180	14,799	24,463	26,803	31,849	24,284	23,703
売上高	10,837	14,285	17,492	16,785	8,089	16,939	19,677	19,242	21,578	20,737
売上原価	9,116	12,215	14,271	12,632	6,663	14,472	16,502	15,603	16,762	15,678
売上総利益	1,721	2,070	3,220	4,153	1,425	2,466	3,174	3,638	4,816	5,058
売上総利益率	15.9%	14.5%	18.4%	24.7%	17.6%	14.6%	16.1%	18.9%	22.3%	24.4%
販売費及び一般管理費	713	807	872	1,049	585	823	941	1,050	1,303	2,087
営業利益	1,008	1,262	2,347	3,103	840	1,642	2,232	2,588	3,512	2,971
営業利益率	9.3%	8.8%	13.4%	18.5%	10.4%	9.7%	11.3%	13.5%	16.3%	14.3%
営業外収益	45	44	45	46	80	60	56	58	65	69
営業外費用	21	25	12	7	6	11	11	16	22	72
経常利益	1,032	1,281	2,380	3,142	914	1,692	2,277	2,630	3,555	2,968
特別利益	0	-	-	-	26	0	0	0	0	57
特別損失	5	10	15	165	20	7	2	0	0	0
税引前当期 (四半期) 純利益	1,027	1,271	2,364	2,976	919	1,685	2,275	2,629	3,555	3,025
法人税等	335	380	738	942	340	521	668	825	1,164	1,233
当期純利益	692	890	1,626	2,033	579	1,164	1,607	1,804	2,390	1,791

損益計算書 (四半期)

(百万円)	24年3月期				25年3月期				26年3月期			
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q
受注高	1,084	5,932	15,046	2,226	2,675	3,146	2,987	5,205	5,190	2,986	6,239	5,741
受注残高	23,630	24,178	33,553	31,849	31,432	30,137	26,559	24,284	22,820	19,913	22,561	23,703
売上高	4,257	5,384	5,671	3,930	3,092	4,441	6,564	7,481	6,653	5,894	3,591	4,599
売上原価	3,579	3,996	4,536	3,492	2,359	3,140	5,428	5,835	4,990	4,201	2,733	3,754
売上総利益	678	1,387	1,136	437	733	1,300	1,137	1,646	1,663	1,693	858	844
売上総利益率	15.9%	25.8%	20.0%	11.1%	23.7%	29.3%	17.3%	22.0%	25.0%	28.7%	23.9%	18.4%
販売費及び一般管理費	233	232	234	351	327	244	304	428	270	699	336	782
営業利益	444	1,154	901	89	405	1,057	832	1,218	1,393	993	522	63
営業利益率	10.4%	21.4%	15.9%	2.2%	13.1%	23.8%	12.7%	16.3%	20.9%	16.8%	14.5%	1.4%
経常利益	461	1,158	922	89	433	1,056	852	1,214	1,415	980	525	48
税引前四半期純利益	461	1,158	923	87	433	1,056	852	1,214	1,415	984	526	100
四半期純利益	312	785	630	77	291	701	568	830	959	563	345	△76

セグメント別 受注高・受注残高・売上高 (四半期) Techno Smart

(百万円)	24年3月期				25年3月期				26年3月期			
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q
受注高	1,084	5,933	15,045	2,226	2,675	3,146	2,987	5,205	5,190	2,986	6,239	5,741
ディスプレイ部品関連	136	2,125	12,212	188	646	1,177	2,346	2,424	587	2,469	3,585	456
機能性フィルム関連	449	204	340	842	1,121	1,584	485	159	4,073	66	1,716	4,395
エネルギー関連	52	2,638	2,326	947	615	86	△117	2,441	267	162	359	365
その他	447	966	167	249	293	299	273	181	263	289	579	525
受注残高	23,630	24,178	33,553	31,849	31,432	30,137	26,559	24,284	22,820	19,913	22,561	23,703
ディスプレイ部品関連	5,732	5,371	15,740	15,342	15,302	15,549	14,135	12,094	8,888	8,386	10,670	9,115
機能性フィルム関連	9,002	8,513	7,495	7,092	7,158	7,094	6,379	5,278	7,627	6,275	7,128	9,979
エネルギー関連	6,250	7,804	8,449	7,883	7,479	5,997	4,627	5,714	5,107	4,043	3,299	2,911
その他	2,646	2,490	1,869	1,532	1,493	1,497	1,418	1,198	1,198	1,209	1,464	1,698
売上高	4,257	5,384	5,671	3,930	3,092	4,441	6,564	7,481	6,653	5,894	3,591	4,599
ディスプレイ部品関連	1,433	2,485	1,843	587	686	930	3,760	4,466	3,793	2,970	1,302	2,011
機能性フィルム関連	1,093	692	1,358	1,245	1,056	1,648	1,199	1,260	1,724	1,418	864	1,543
エネルギー関連	928	1,084	1,682	1,512	1,019	1,568	1,253	1,353	874	1,227	1,102	754
その他	803	1,121	787	589	331	295	352	402	262	279	323	291

貸借対照表 (通期)

(百万円)	17年3月期	18年3月期	19年3月期	20年3月期	21年3月期	22年3月期	23年3月期	24年3月期	25年3月期	26年3月期
総資産	18,364	19,391	24,435	22,926	22,138	29,316	27,909	29,948	32,618	30,507
流動資産	13,933	14,840	19,863	17,711	16,608	23,204	21,621	23,039	25,217	22,313
現金及び預金	5,606	5,493	6,076	6,188	10,461	10,638	9,583	9,711	6,896	10,410
売上債権	7,862	9,081	13,119	10,952	5,595	11,078	11,381	12,256	17,521	12,299
棚卸資産	265	234	252	282	185	552	535	842	518	494
固定資産	4,430	4,551	4,572	5,214	5,529	6,111	6,287	6,909	7,401	8,194
有形固定資産	3,072	2,977	3,044	3,673	3,925	4,508	4,447	4,592	5,181	5,175
総負債	7,440	6,558	9,461	6,497	5,391	11,910	9,331	10,240	12,987	9,737
流動負債	5,971	5,205	8,178	5,225	4,090	10,563	7,923	8,762	10,096	6,882
仕入債務	4,218	3,526	6,184	3,113	2,325	8,060	5,008	4,357	6,079	2,125
前受金	639	676	758	744	1,398	1,597	1,729	3,005	1,507	2,312
固定負債	1,468	1,352	1,283	1,272	1,300	1,347	1,407	1,477	2,891	2,855
純資産	10,923	12,832	14,974	16,428	16,747	17,405	18,577	19,707	19,631	20,770
株主資本	9,432	11,230	13,502	15,003	15,151	15,879	16,945	17,647	17,668	18,390
評価・換算差額等	1,491	1,594	1,471	1,424	1,596	1,525	1,631	2,060	1,963	2,379
有利子負債	841	547	194	82	2	-	-	-	2,000	2,166
自己資本比率	59.5%	66.1%	61.3%	71.7%	75.6%	59.4%	66.6%	65.8%	60.2%	68.1%
1株あたり純資産	1,030.9円	1,118.5円	1,208.0円	1,325.3円	1,351.1円	1,415.6円	1,510.9円	1,599.9円	1,708.4円	1,811.6円

(百万円)	17年3月期	18年3月期	19年3月期	20年3月期	21年3月期	22年3月期	23年3月期	24年3月期	25年3月期	26年3月期
営業活動による キャッシュ・フロー	823	△699	493	1,543	5,161	1,372	△459	1,520	△1,532	5,074
投資活動による キャッシュ・フロー	△209	△33	△196	△788	△363	△759	△55	△291	△815	△659
財務活動による キャッシュ・フロー	△312	619	286	△643	△525	△439	△541	△1,100	△366	△900
現金及び現金同等物 の増減額	301	△113	583	111	4,272	177	△1,055	128	△2,715	3,514
現金及び現金同等物 の期首残高	5,205	5,506	5,393	5,976	6,088	10,361	10,538	9,483	9,611	6,896
現金及び現金同等物 の期末残高	5,506	5,393	5,976	6,088	10,361	10,538	9,483	9,611	6,896	10,410
(ご参考) フリー・キャッシュ・フロー	613	△732	296	755	4,797	613	△514	1,229	△2,348	4,414

フリー・キャッシュ・フロー・・・営業活動によるキャッシュ・フロー + 投資活動によるキャッシュ・フロー



Techno Smart

Changing Life with Coating Technology

免責事項

将来予測について

本資料で提供されている情報には、将来の見通しに関する情報が含まれています。これら歴史的事実以外の情報は、当社が属する業界の競争、市場、諸制度に係るリスクや不確実性による影響を受ける可能性があります。その結果、当社が現時点で把握可能な情報から判断した仮定及び推測に基づく見込みは、将来における実際の成果及び業績とは異なる場合がありますことをご承知おきください。

お問い合わせ先等

本資料の内容に関するお問い合わせにつきましては、下記までお願い申し上げます。

管理統括部 経営企画・IR推進部
TEL 06-6253-7200（代表）